

第 68 全日本都道府県対抗剣道優勝大会 兼
第 12 回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会
山形県予選会実施要項

1. 主 催 山形県剣道連盟
2. 趣 旨 第 68 回全日本都道府県対抗剣道優勝大会（令和 2 年 4 月 29 日開催）
第 12 回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会（令和 2 年 7 月 12 日開催）
山形県代表選手を選考するために実施する。
3. 期 日 令和 2 年 2 月 1 日（土）開会式：9 時 30 分 試合開始：10 時
4. 会 場 山形県総合運動公園「サブアリーナ」
（天童市山王 1-1 電話 023-655-5900）
5. 試合種別
 - (1)男子の部
 - (ア) 先鋒の部 高校生の男子
 - (イ) 次鋒の部 大学生の男子
 - (ウ) 5 将の部 年齢 18 歳以上 35 歳未満の男子（警察・教職員・高校・大学を除く）
 - (エ) 中堅の部 教職員の男子。年齢に制限なし。
 - (オ) 3 将の部 警察職員の男子。年齢に制限なし。
 - (カ) 副将の部 年齢 35 歳以上の男子。（警察職員・教職員を除く。）
 - (キ) 大将の部 年齢 50 歳以上・剣道教士七段以上の男子。
 - (2)女子の部
 - (ア) 先鋒の部 高校生の女子
 - (イ) 次鋒の部 大学生の女子
 - (ウ) 中堅の部 18 歳以上 35 歳未満(高校生・大学生を除く)
 - (エ) 副将の部 年齢 35 歳以上 45 歳未満の女子
 - (オ) 大将の部 年齢 45 歳以上の女子

6. 参加資格

(1)男子の部については

山形県剣道連盟の登録会員であって、大会日は令和 2 年 4 月 29 日のため、年齢・資格の基準は、全国大会実施の前日（令和 2 年 4 月 28 日）とする。

高校生は学校長の出場許可を得、県高校新人大会でベスト 16 位まで入賞し、標記大会に出場可能な者とする。

次鋒の部（大学生の男子）の参加資格は、高校 3 年生以上とし、全日本都道府県対抗優勝大会当日、学生になっている者（竹刀は一般用）とする。なお、大学生の場合は、出場できる都道府県は、個人が登録している剣道連盟または出身高校の剣道連盟のいずれか一か所とする。

(2)女子の部については

山形県剣道連盟の登録会員であって、大会日は令和2年7月12日のため、年齢・資格の基準は、全国大会実施の前日（令和2年7月11日）とする。

高校生は学校長の出場許可を得、県高校新人大会でベスト16位まで入賞し、標記大会に出場可能な者とする。

次鋒の部（大学生の女子）の参加資格は、高校3年生以上とし、全日本都道府県対抗優勝大会当日、大学生になっている者（竹刀は一般用）とする。なお、大学生の場合は、出場できる都道府県は、個人が登録している剣道連盟または出身高校の剣道連盟のいずれか一か所とする。

7. 試合・審判および試合方法

- (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則とその細則による。
- (2) 試合は、原則としてトーナメント方式により順位を決定する。
- (3) 試合は3本勝負として、試合時間は高校生4分その他5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、勝敗が決するまで行う。

8.参加料 2,000円

9.竹刀の検査

- (1) 出場者は大会当日に竹刀の計量検査を受けること。
- (2) 竹刀の長さ、重さ、太さは**試合・審判規則（新基準R2.4.1）**とその細則の基準による。

10. 参加申込 令和2年1月8日（水）までに、別紙「参加申込書」に参加料2,000円を添えて、各地区剣道連盟事務局に申し込むこと。

11. 審判会議 審判会議は大会当日9時15分より試合会場内で行う。

12. その他

- (1) 3位まで表彰する。
- (2) 主催者側が保険加入するが、各自健康管理に十分留意すること。

竹刀の基準

	長さ	重さ	先端部最少直径	ちくとう最少直径
高校生男子	117cm以下	480g以上	26mm以上	21mm以上
大学生・一般男子	120cm以下	510g以上	26mm以上	21mm以上
高校生女子	117cm以下	420g以上	25mm以上	20mm以上
大学生・一般女子	120cm以下	440g以上	25mm以上	20mm以上